2015年国民平和大行進

葉山町長メッセージ

「被爆70年。核兵器廃絶2015年平和行進」に参加される皆様始め、関係者の方々の多大なご尽力ら深く敬意を表します。

我が国は、世界で唯一の被爆国であり、核兵器の廃絶と恒久平和を確立し、再び悲しみの歴史を繰り返すことのないようにすることは、私たちに課せられた重大な責務であります。

葉山町では、非核三原則を堅持し恒久平和を願い、平成４年11月に**「葉山町非核平和都市宣言」**を行ないました。この宣言をもとに非核平和の重要な町民とと共に深く認識するとともに、被爆70年という節目に核兵器廃絶への誓いを新たにしてまいります。

また、葉山町では毎年未来を担う子どもたちへの啓発活動として、中学生を対象に**平和標語コンクール**を行っており、昨年は40点の応募作品の中から**【葉を育て、山を守り、海に暮らす、未来に残す】**という標語が金賞を受賞しております。この標語が表すように、戦争の悲惨な記憶を風化させることなく、平和な未来の姿を後世へ受け継いでまいりたいと思います。

最後に、この平和行進を通じて「平和」への厚い志の輪が広がることを期待すると共に、参加者皆様方のご無事とご健勝を心からお祈り申し上げまして、メッセージとさせていただきます。

平成27年５月15日

葉山町長　山梨　崇仁

PEACE WAVE　平和の波　No.121

原水爆禁止逗子市協議会ニュース　2015年5月発行　連絡先　逗子市逗子5-8-21　TEL873-0739　FAX871-7969

逗子市長メッセージ

「被爆70年、核兵器廃絶2015年平和行進」にご参加の皆様に心から敬意を表します。

広島・長崎に原子爆弾が投下されてから70年が経過する今日も依然として、世界各地では紛争が絶えず、人々は未だに核兵器の危機にさらされています。

現在、ニューヨークで核兵器不拡散条約（ＮＰＴ）再検討会議が開催されています。本市も加盟する**平和首長会議**を代表し、広島市長と長崎市長が出席し、国連、各国政府関係者等に2020年までの核兵器廃絶の実現に向けた前進を強く訴えました。

平成16年4月に**「逗子市非核都市宣言」**を行った本市においても、平成８年から若い世代が戦争の悲惨さや核兵器の恐ろしさを学び語り継いで行くことを目的に継続している**「逗子市ピースメッセンジャー派遣事業」**では、今年度も中学２年生20名を長崎市へ派遣します。

また、市民の活発な非核推進活動促進のため。平成17年から逗子市被爆者の会との共催で**「原爆と人間展」**を、平成23年からは市民団体が中心となって企画・運営する**「ずし平和デー」**ほ共催するなど、核兵器廃絶と世界の恒久平和を願う自治体として、様々な取り組み、活動を行っています。

今後も、平和な社会の実現について考えていただける機会を設けるとともに、地域の皆様が安心して暮らせるまちづくりに取り組んでまいります。

結びに、この「被爆70年、核兵器廃絶2015年平和行進」のご無事と皆様のますますのご健勝、ご活躍をお祈り申し上げます。

2015年（平成27年）５月15日

逗子市長　平井竜一